

## 第 11 回奈良 ESD 連続セミナー概要報告

- ◇開催時期 平成 30 年 1 月 25 日(木)
- ◇会場 次世代教員養成センター2 号館多目的ホール
- ◇参加者 池見・大西・圓山・阿彌(飛鳥小)、石田・松田(済美)、池見(大宮小)、河野(附属小)、  
山方・三木(都跡小)、中澤(平群北小)、島(郡山西小)、藏前(真美ヶ丘第一小)、  
新宮(平城小)・檜原(日本 SD 学会事務局)、北村(御所市教育委員)、  
池上、森本、谷垣、栗谷(奈良教育大) 計 20 名

### ◇内 容 指導案の検討

#### 1. もしもの時に備えよう「こんなときどうする?」 (第 6 学年)

奈良教育大学英語教育専修 森本 珠美 怜

- ・ 単元目標に各自防災計画を立てることを記述したほうが良い。
- ・ 本単元は東日本大震災から防災について考えるように入っているが、関西に住む子供たちにとって、阪神淡路大震災から入ったほうが、より身近に感じられるのではないだろうか。
- ・ 各自の防災計画の記述内容に、個人情報が入ることになっているので、取り扱いに注意を要すると共に、必要があるのか少し疑問である。
- ・ 「津波てんでんこ」という言葉があるが、防災計画の中に、「家で災害が起こったら」のところ、家族での話し合いのもとになるので、しっかりと押さえ家族間で確認しておかなければならない。
- ・ 3 次、4 次で学校で地震が起こったらという想定になっているが、子どもは、大人(教員)の責任で避難を行うので、自分の判断で行うものに絞ってはどうか。
- ・ 家の間取りなどを参考に危険個所をグループで話し合ったらどうか。
- ・ 自分たちが考えたことを保護者の前で発表してもよいのではないか。
- ・ 日ごろからの備えの必要性を共有する。
- ・ インタビューの内容を大切に伝え、共有できるようにする。



#### 2. 短歌で楽しもう「まるで暗号?!言葉遊びで万葉集にちょうせん」(第 3 学年)

平群町立平群北小学校 中澤 哲也

- ・ 単元目標が 2 つでよいのだろうか。
- ・ 短歌は難しいのでこだわらずに、言葉の面白さを遊ぶことで気付かせてもよいのではないか。例えば「24 行ったよ」⇒ $3 \times 8 = 24$  から「散髪(さんぱつ)行ったよ」というぐらいで。
- ・ 3 年生で古典文学を学んだあとの生かし方が大切と思うが、モデルを作ってもらいたい。
- ・ 昔の言葉が今に伝わっているので、ESD として展開できるのではないだろうか。昔の暮らしの単元で時間軸(歴史)に少し入っているので、時間の流れはわかると思う。



### 3. 私たちの町を外国人観光客に発信しよう (第6学年)

奈良教育大学英語教育専修 谷垣 徹

- ・5次で終了してもよいのではないかな。

ポスターを作って町の良いところを観光客に聞く。



- ・インタビューは難しいのではないかな。
- ・外国人と6年生段階ではなかなかコミュニケーションがとれない。
- ・外国人への発信にしなくても、学級での発信でもよい。
- ・SDGsの目標11の6つのキーワードに限定しないで、調べる内容を子どもたちに聞いてもよいのでは。
- ・単元目標に外国語活動の目標が入っていない。
- ・学んだ言い方が相手に伝わった時には喜びも多く、学ぶ意欲にもつながる。



### 4. 水産業のさかんな地域 (第5学年)

奈良教育大学附属小学校 河野 晋也

奈良で水産業を取り扱うことは、運輸・消費生活・技術向上などにリンクすることができる。

回転ずし→いつでも・どこでも ⇒ 旬がない、遠くの海から(冷凍技術 美味しい)

- ・深める → 広げる への段階でそれらをつなげる資料が必要である。
- ・養殖・栽培漁業などをどこで抑えるのか。  
深めるの段階で抑えたい。
- ・導入段階でなぜ「柿の葉すし」なのか。
- ・この学習課題で単元を貫けるのか。
- ・導入で「柿の葉すし」から入ると、この学習課題が生きてくる。
- ・奈良から勝浦への視点移動だけでも難しいのでは。



### 5. 「他人事じゃない差別のこと ～多様な人が住みやすい社会を作るために～」 (中学第3学年)

奈良教育大学英語教育専修 池上 岳昭

- ・取り扱う事例が多く、それぞれが違うので、深く考えられないのではないかな。



自分事として考えられない。

- ・sympathy と empathy を表に入れていってはどうだろうか。
- ・道徳で取り扱っても7時間はとりすぎだと思う。
- ・取り扱っている内容は子どもに身近であるのか。他人事になると上滑りをしてしまう。
- ・「こんな社会を作りたい」という目標に向かって主体的に活動し、冷静に考え判断できるようにしなくてはならない。



※ 次回のESD連続セミナーは、2月15日(木)18時からです。発表者は、栗谷・松田・阿彌・圓山・池見・池見幸の先生方です。配られている指導案を忘れずに持参ください。